



有限会社 ポジティブ

Communication on Progress

2013年度

*対象期間：2012年5月～2013年5月まで

連絡先

会社名、部署、役職、担当者氏名
Email:positive.env@gmail.com

有限会社 ポジティブ
電話：03-5547-2342

代表取締役 萬 武浩
Fax：03-5547-2343

会社概要

会社名：有限会社 ポジティブ

所在地：東京都中央区勝どき2丁目8番12号東京ビュック309号

従業員数：22名

事業内容：ビルメンテナンス業、催し物企画・設置

トップステイトメント

弊社は2012年5月にグローバル・コンパクトに加盟しました。

加盟の動機は、2011年3月11日発生した、東日本大震災の際、我々が日常的に外国人と一緒に業務を実行、又はサービス業務にあたっている大使館や、有料トイレ清掃等を通じて、外国人との接触が多い我々が、彼らに対して我々にしか出来ない事が回りに何かあるのではないかと、という強い思いがあり、グローバル・コンパクトへの加盟を決めました。

基本的な業務としては、①警備 ②清掃 ③機械メンテナンス ④催物の設営等があります。

これらの基本業務を実行する中で、グローバル・コンパクト及び、その10の原則を支持し、企業活動を進めてまいります。

本年度の活動としては、

- ① 7月に震災被災地の気仙沼スタディーツアーに参加し、被災地の現状と、気仙沼市長、各団体の方々と意見を交換した結果、今回の参加が、これから日常実施する我々の業務の新しい指針の一つになり得る事を感じました。

有限会社 ポジティブ
萬 武浩
代表取締役

2013年5月12日

グローバル・コンパクト10原則

- 人 権 企業は、
原則1：国際的に宣言されている人権の保護を支持、尊重し、
原則2：自らが人権侵害に加担しないよう確保すべきである。
- 労働基準 企業は、
原則3：組合結成の自由と団体交渉の権利の実効的な承認を支持し、
原則4：あらゆる形態の強制労働の撤廃を支持し、
原則5：児童労働の実効的な廃止を支持し、
原則6：雇用と職業における差別の撤廃を支持すべきである。
- 環 境 企業は、
原則7：環境上の課題に対する予防原則的アプローチを支持し、
原則8：環境に関するより大きな責任を率先して引き受け、
原則9：環境に優しい技術の開発と普及を奨励すべきである。
- 腐敗防止 企業は、
原則10：強要と贈収賄を含むあらゆる形態の腐敗の防止に取り組むべきである。

人権分野に関する活動報告書

本年度の活動目標・内容	結果・評価	来年度の活動目標・内容
<p>1. 特に警備員の新任教養及び、現任教養中にカリキュラムを設けて、1人あたり3時間実施し、</p> <p>① セキュリティーとプライバシーの境目について</p> <p>② 世界基準のセキュリティーの歴史と現状を説明し、日本のセキュリティーとの違いについてを主な内容として教育している</p> <p>1. 現在、4カ所業務委託されている、日本では未だ数の少ない有料トイレの日常清掃を通じて、使用者の安全と衛生管理に日夜努めている</p>	<p style="text-align: center;">◎</p> <p>現在、日本では、警備業における ISO 等グローバルスタンダード基準に加盟している企業がほとんどないことから弊社が、国連グローバルコンパクトに加盟している事が、日本の警備業界のグローバルスタンダード基準における先駆者的な立場であることを伝えている。</p> <p style="text-align: center;">◎</p>	<p>現在2科目のカリキュラムの数を3科目に増やして内容の充実を計っていきたい。</p> <p>現在、4カ所の有料トイレの業務委託を、8ヶ所程度に増やし、有料トイレ清掃の専門知識を高めていきたい。</p>

労働基準に関する活動報告書

本年度の活動目標・内容	結果・評価	来年度の活動目標・内容
<p>有限会社ポジティブは、従業員等の組合はもっていませんが、</p> <p>①あらゆる形態の強制労働は実施していません。</p> <p>②又、児童労働の実効もしていません。</p> <p>以上の活動から、③雇用と職業における差別の撤廃を支持すべきであると考えています。</p>	<p>○</p> <p>もっと研修等を開いて、従業員に対して、浸透を図った方が良かった。</p>	<p>新たな研修のカリキュラムとして対象を拡大したい。</p>

環境分野に関する活動報告書

本年度の活動目標・内容	結果・評価	来年度の活動目標・内容
<p>クライアントとの清掃契約業務の中でゴミの分別の重要性と再利用（リユース）できるものについては、積極的に再使用可能性を提案し、実質的なゴミの量を減らす活動をしている。</p> <p>常時清掃するにあたり、ウィルス感染、特にノロウィルス、インフルエンザ等の感染防止に努めている。</p>	<p style="text-align: center;">○</p> <p>一部手直しすれば、未だ使用できるものと、廃棄するものの、境界線が難しかった。</p> <p style="text-align: center;">○</p> <p>保健所からの指導内容を勉強会を通じて、従業員と、クライアントとの共通知識と認識を持つ事が出来た。</p>	<p>リユース業界より専門的な意見を取り入れ、取組みの方向性を確認していきたい。</p> <p>新しい感染予防の為の処置、及び防御方法を勉強会を開いて、知識を広げたい。</p>

腐敗防止分野に関する活動報告書

本年度の活動目標・内容	結果・評価	来年度の活動目標・内容
<p>社員行動綱領における腐敗防止の徹底 ①行動綱領の一項目として、「特に大使館員と、取引先との贈答接待等は、法令や社会通念に逸脱して行わない」を加え、全社員を対象とした社員教育を7月に実施。</p> <p>②暴力団員による、不当要求防止責任者講習を、修了し、社員教育を1月に実施</p>	<p style="text-align: center;">◎</p> <p style="text-align: center;">○</p> <p>弊社のサプライチェーンや従業員に対して、もう少し詳しく教養する必要がある。</p>	<p>引き続き、社員教育を徹底すると共に、警備業法の現任教育のカリキュラムの中に取り入れていく。</p> <p>従業員やサプライチェーンにもっと理解をしてもらうために、資料等の整備を実施したい。</p>

このコミュニケーション・オン・プログレスの報告内容をどのようにステークホルダーに伝えますか。

自社のウェブに掲載する予定です。(現在、自社のウェブホームページを作成中)
又、GC 本部より認証をいただいている警備用ワッペンのロゴを大使館のレセプション（1年に約50回程度実施）等で着用し、広く GC ネットワークの啓蒙活動を心掛けていきたい。